

【担当教員】

李志東

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟306室

【授業目的及び達成目標】

エネルギー需給・環境保全・経済発展の相互依存関係と、三者の最適協調経路を解明し、持続可能な発展の諸条件について考察することを目的とする。エネルギー・環境に関する問題意識を深め、問題解決に必要な基礎能力を身に付けることを目標とする。

【授業キーワード】

エネルギー、資源制約、環境制約、エネルギー需給バランス、エネルギー需給モデル、環境保護システムとエネルギー環境政策、持続可能な発展

【授業内容及び授業方法】

統計データを中心とする講義資料を配布し、討論と講義を併用する方式で進める。

【授業項目】

1. エネルギー経済論とは(1回)
2. トリレンマとしてのエネルギー・環境・経済(1回)
2. エネルギー資源概論:資源制約はあるか(2回)
3. エネルギー需給と環境問題:人類は生き延びられる(1回)
4. エネルギー需給の影響要因(2回)
5. 環境の影響要因:環境保護システム論(2回)
6. エネルギー需給バランス表分析(3回)
7. 計量経済学手法による実証分析モデル(3回)

【教科書】

追って指示する。

【参考書】

- (1)日本エネルギー経済研究所エネルギー計量分析センター 編「エネルギー・経済統計要覧 '2001」省エネルギーセンター
- (2)日本エネルギー経済研究所エネルギー計量分析センター 編「図解 エネルギー・経済データの読み方入門」省エネルギーセンター
- (3)李志東著「中国の環境保護システム」東洋経済新報社

【成績の評価方法及び評価項目】

レポートにより評価する。

【留意事項】

※本科目は、eラーニング科目として、社会人キャリアアップコース在学学生、現職教員リフレッシュコース在学学生、科目等履修生、及び聴講生もしくは単位互換協定にかかる特別聴講学生に対して開講された科目である。よって、これ以外の本学学生は履修できない。
日本エネルギー経済論(第1学期集中)と併せて履修することが望ましい。

【担当教員】

浅井 達雄 (ASAI Tatsuo)

【教員室または連絡先】

総合研究棟510室(浅井) asai@nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

〔授業目的〕

情報社会進展のための基本的要件である情報のセキュリティ管理について、その実態とセキュリティ管理の実践的徹底法を理解する。

〔達成目標〕

経営管理の視点から情報セキュリティ管理を主導できるようになる。

【授業キーワード】

経営資源、知的財産マネジメント、情報資産、セキュリティ・ポリシー、情報管理とセキュリティ管理、情報管理責任者、情報セキュリティ管理責任者、個人情報保護、個人情報保護法、営業秘密管理、不正競争防止法、統合マネジメント・システム

【授業内容及び授業方法】

・講義は、e-ラーニング・システムを活用して行う。

【授業項目】

- 第1章 情報セキュリティをめぐる現実の世界
- 第2章 情報セキュリティ概念の変化と管理の実態
- 第3章 組織内各層への訴求事項
- 第4章 管理の発展段階とあるべき姿
- 第5章 情報セキュリティの確保
- 第6章 ポリシーの確立
- 第7章 推進上の留意点
- 第8章 営業秘密の保護
- 第9章 個人情報の保護
- 第10章 情報セキュリティ管理の徹底
- 第11章 管理サイクル
- 第12章 規格
- 第13章 統合マネジメント・システム

【教科書】

「情報セキュリティと企業活動」、浅井達雄、亀田ブックサービス、2007年
(Tatsuo Asai: Information Security and Business Activities, Kameda Book Service, 2007,
<http://www.kamedabook.com/book27.html>)

【参考書】

「企業経営と情報セキュリティ」浅井達雄ほか、経済産業調査会
「営業秘密管理ガイドブック[新訂版]」浅井達雄ほか、商事法務

【成績の評価方法と評価項目】

1. 成績評価
・レポートで評価する。
2. 評価項目にはつぎの項目を含める。
 - ・実践的課題を正しくとらえることができるか
 - ・授業で修得した知識を活用して解決策が提案できるか
 - ・解決策を説得力のある形で効果的にレポートできるか

【担当教員】

浅井 達雄 (ASAI Tatsuo)

【教員室または連絡先】

総合研究棟510室 asai@nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

〔授業目的〕

競争力のある活力あふれる経営を実現するための情報システム戦略の要件を明らかにし、情報システム戦略の立案方法、実施にむけての準備事項を理解する。

〔達成目標〕

経営戦略に基づいた情報システム戦略が立案できるようになる。

【授業キーワード】

経営戦略、情報資産、情報戦略、情報システム戦略、情報システム計画、ERP、BPR、SCM、CRM、PLM

【授業内容及び授業方法】

eラーニング・システムを用いて行う。

【授業項目】

- 第1章 現代の企業経営と情報技術
- 第2章 経営情報システムの変遷
- 第3章 経営戦略と情報技術
- 第4章 経営組織と情報技術
- 第5章 組織間関係と情報技術
- 第6章 ナレッジ・マネジメントにおける情報技術
- 第7章 現代の情報技術環境
- 第8章 現代のシステム開発技法
- 第9章 現代の情報技術活用技法
- 第10章 ITガバナンスと情報セキュリティ
- 第11章 共生社会と情報システムの課題

【教科書】

(教科書は使用しない。)

【参考書】

「情報技術と企業経営」島田達巳、遠山暁、学文社

【成績の評価方法と評価項目】

1. 成績評価
 - ・レポートで評価する。
2. 評価項目にはつぎの項目を含める。
 - ・実践的課題を正しくとらえることができるか
 - ・授業で修得した知識を活用して解決策が提案できるか
 - ・解決策を説得力のある形で効果的にレポートできるか

【留意事項】

1. 奇数年度に開講する。

【担当教員】

三上 喜貴 (MIKAMI Yoshiki)・浅井 達雄 (ASAI Tatsuo)

【教員室または連絡先】

三上(Mikami): 総合研究棟601室(Sogo Kenkyu Bldg. 601), 内線9355
浅井(Asai): 総合研究棟510室(Sogo Kenkyu Bldg. 505), 内線9366

【授業目的及び達成目標】

技術マネジメントに関する基本的な枠組みや概念, 技術評価手法, 研究開発組織管理, 知的財産管理について学習する.

To study basic concepts of technology management, technology evaluation, research organization management, intellectual property management.

【授業キーワード】

ナショナル・イノベーション・システム, プロセス&プロダクト・イノベーション, 技術評価, 研究開発資源管理, 知的財産マネジメント, 統合マネジメント・システム
National Innovation System, Product & Process Innovation, Technology Evaluation, R&D Resource Mmanagement, Intellectual Property Management, Integrated Management

【授業内容及び授業方法】

講義及び論文講読
Lectures and reading assignment

eラーニング・システムも用いて行う。
You use an e-learning system.

Lectures by Prof.Asai will be delivered through e-learning, except the first and the last classes.

【授業項目】

授業項目----- COURSE TOPICS
1. オリエンテーション----- 1. Orientation
2. ナショナル・イノベーション・システム----- 2. National Innovation System
3. 技術開発・製品開発のマネジメント----- 3. Management of Technology/Product Development
4. 研究評価・技術評価の手法----- 4. Reesearch/Technology Evaluation
5. 研究開発資源の管理----- 5. R&D Resource Management
6. 知的財産マネジメント----- 6. Intellectual Property Management
7. 統合マネジメント・システム----- 7. Integrated Management System

【参考書】

藤末健三, 「技術経営入門」, 日経BP社, 2004年.
Michael E. McGrath, Product Strategy for High Technology Companies, McGraw Hill, 2000.
永田晃也, 「知的財産マネジメントー戦略と組織構造」, 中央経済社, 2004年
(Akiya Nagata: Managing Intellectual Property, Chuokeizai-sha, Inc., 2004)
朝日監査法人, 「図解 知的財産マネジメント」, 東洋経済新報社, 2003年
(Asahi & Co.: Intellectual Property, Toyo Keizai, Inc., 2003)
浅井達雄, 「情報セキュリティと企業活動」, 亀田ブックサービス, 2007年.
(Tatsuo Asai: Information Security and Business Activities, Kameda Book Service, 2007,
<http://www.kamedabook.com/book27.html>)

【成績の評価方法と評価項目】

演習課題レポートを上記達成目標に照らして評価する。
Reports and class participation.

【留意事項】

本授業は, 偶数年度は英語, 奇数年度は日本語で開講する。
This course is given in English in even years (2008, 2010,..), and in Japanese in odd years.

【参照ホームページアドレス】

<http://kjs.nagaokaut.ac.jp/mikami> , <http://kjs.nagaokaut.ac.jp/asai/lec/>